

—早速ですが、まずはリカバリーサポート・ネットワーク（以下、RSN）の活動状況からお話をください。

西村 RSNでは、パチンコ・

パチスロのめり込み問題を抱える本人から電話相談を受ける窓口を開設しています。その電話相談では、まず現在起きている事を問題を抱える本人から直接聞き、そのデータを整理するほか、その人が住んでいる地域で問題解決向けた支援を受けられるようサポートするのが目的です。現在は年間約1200件の電話相談があります。窓口の開設から5年で相談者の実数は4437人となりましたが、うち7割を問題を抱える本人が占めています。

—のめり込み問題の実態把握のために電話相談窓口を開設してから5年が経ちますが、この5年間で見えてきたものはなんでしょうか。

西村 単純にパチンコ依存と言うには問題の幅が広く、単純化できないことが分かりました。最初は金銭問題としてしか見えていませんでしたが、5年間の調査で金銭問題以外にも、対人関係の問題など背景にある様々な要因が分かつてきました。のめり込み問題は、ユーザー個々の背景にある問題に起因するものであり、その問題に対する支

「ストレスを抱えている人ほど娯楽を必要としている」

Interview

特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク代表

西村直之

パチンコ依存問題の相談窓口として設立されたリカバリーサポート・ネットワーク。2006年4月の開設から5年が経過し、のめり込み問題への研究も進んできている。さらに、今年度から業界14団体で構成される21世紀会からの資金援助も決定され、のめり込み問題の解決に向けて、今後の活動強化が期待されているところだ。そこで、RSNの活動状況やのめり込み問題の現状など代表の西村直之氏に伺った。



援がなければ解決はできません。
そこで、今後は個人が抱える問題にもっと深く関与することが大切になります。

大切になると考えて います

では、無理矢理にパチンコ・パチスロを止めさせても問題の解決にはならないんですね。

西村 そうですが、まだ問題を

抱える本人全員がパチンコ・パチスロを止めるべきかも含めて明らかになつていません。近年の諸外国の研究で、パチンコ・パチスロにのめり込んだ人がその後コントロールできる状況に戻れるユーザーがたくさんいることが分かつてきました。これは、アルコールや薬物でも同じですが、問題に介入できる窓口が少ない時は元に戻りにくく、重度な状態になつてからしか表面化しません。ですが、早期の介入を進めていくと、早い段階で背景にある問題を解決することで止める必要のない人が増えてくるからです。

——なるほど、一概に止めさせれば良いわけではないのですね

西村 そうです。例えば、お酒でもストレス貯めるとついいつ飲み過ぎる人もいますが、抱えるストレスや自分の健康に対する意識が芽生えれば体に負担なく楽しむことができます。この様に症状には段階があつて、背景にある問題を解決することで



生じる人たちがいます。この特徴は、パチンコに限らず他のギャンブルでも指摘されています。のめり込み問題では、通常は男性の方が問題を起こしやすいと言われていますが、海外の研究ではスロットマシンやビデオポーカー機では男女にあまり差がないとの報告があります。日本でもパチンコ問題の発生率に性差は無いと考えています。ただ

重度な状態になつてからしか表
面化しません。ですが、早期の
介入を進めていくと、早い段階
で背景にある問題を解決するこ
とで止める必要のない人が増え
てくるからです。

えていることになります。

実です。パーラーでも、駐車場の見回り強化によつて事故を未然に防いでいますが、それでも放置された子どもが保護される

その後コントロールできる状況に戻れるユーザーがたくさんいることが分かつてきました。これは、アルコールや薬物でも同じですが、問題に介入できる窓口は、時々元に戻ります。

低貸玉から始めたエーサーは金銭問題に発展しにくく、また現在低貸玉で遊んでいる人のすべてが好んで遊んでいるとは限りません。つまり、お金が借りら

西村 子どもの放置事件はパー
ラーだけで起こる問題ではない
抱える問題です

—— 次に、のめり込み問題に貸金業法の改正や低貸玉の影響はありますか。

——子どもの車内放置も業界が
題の本質的な部分も見えてきて
います。

ケースが複数あります。ですか
ら、低賃金など営業形態が変わ
るうとも、金銭問題以外にもハ
スクマネジメントができないユ
ーザーが来店しているという事
実は忘れてはならないと思いま
す。

——のめり込み問題では、借金
など金銭問題がクローズアップ
されますが、問題は金銭面だけ
ではないんですね。では、パチ
ンコ・パチスロにのめり込むユ
ーザーの特徴はどうでしょうか。

西村 男性では20代や30代とい
つた若い世代が圧倒的に多いで
す。それは、早期から遊技を始
めた社会的な経験が浅いため対
処できずにのめり込む傾向にあ
ります。女性は全世代において
問題が生じる可能性があります。
特に40代、50代からパチンコを
始め、比較的短い時間で問題を
生じる人たちがいます。この特
徴は、パチンコに限らず他のギ
ャンブルでも指摘されています。
のめり込み問題では、通常は男
性の方が問題を起こしやすいと
言われていますが、海外の研究
ではスロットマシンやビデオポ
ーカー機では男女にあまり差が
ないとの報告があります。日本
でもパチンコ問題の発生率に性
差は無いと考えています。ただ、

——最後に業界として、今後は
のめり込み問題にどう向き合え
ば良いのでしょうか。

西村 ユーザーの参加年齢が低
年齢化すると、早期に問題が表
面化しますので、この人たちは
息の長いユーザーにはなりませ
ん。早期のユーザー獲得は一見
業界にとって良く見えますが、
最終的には業界の健全な発展を
阻害する可能性もあります。こ
の若い世代に10年、20年と長く
パチンコ・パチスロに付き合つ
てもらうためにはどうすればい
いのか、また社会からパチンコ
・パチスロが許容されるにはど
う在るべきなのか、業界はユー
ーザーが抱えているリスクに対し
て常に敏感でなければなりません。
様々なストレスを抱えている
人ほど娯楽を必要としていま
すので、地域の社会資源である
娯楽としてのパチンコ・パチス
ロが健全であり続けるためにも、
業界が抱えているリスクをユー
ーザーに負わせてはなりません。